

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨特別支援学校

学校番号

119

自己評価

学校教育目標	「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる） ・生活自立（基本的な生活習慣の確立・基礎体力の向上・基礎学力の定着） ・社会自立（情緒のコントロール・コミュニケーションスキルの獲得・規範意識や危険回避能力の育成） ・職業自立（自己理解と行動の調整・働くことの意義や役割の理解・職業に対する理解や実地的な知識・技能・態度の習得）
評価する領域・分野	「防災教育」（ 防災研修・防災訓練・情報提供 ）
現状及びアンケートの結果分析等	・「学校は児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしているの で、安心して登校できる。」の質問に対し保護者からは約96%の肯定的な 評価を回答をしている。この要因としては、保護者に対して防災に対す る研修内容や提供する情報が保護者の求める内容と一致していること が考えられる。 ・防災についての研修等を行うことで、職員・保護者に防災に対する正し い知識の定着と意識の向上が考えられる。
今年度の具体的かつ 明確な重点目標	・専門家を招いての研修を行い保護者や教職員に情報提供を図る。 ・防災訓練に専門家の意見を取り入れ具体的実践的な訓練を実施する。 ・防災教育の一環として、小学部、中学部、高等部の児童生徒が、防災につ いて考える機会を年間指導計画に位置付ける。
重点目標を達成する ための校内組織体制	・保健安全部・渉外部・研修部が連携し防災についての研修等の実施 ・学校運営協議会委員や地域等の外部の意見 ・学校評価アンケートの実施
目標の達成に必要な 具体的取組	・保健安全部・渉外部・研修部が連携し専門家を招いての保護者向け防災研 修会の実施 ・防災計画に基づいた防災訓練の実施 ・学習計画に基づいた防災教育の実施
達成度の判断・判定 基準あるいは指標	・保護者向け防災研修の実施（年間2回） ・個別懇談等の保護者や生徒からの意見や感想。 ・学校運営協議会委員や地域等の外部の意見。 ・学校評価アンケートの実施
取組状況・実践内容等	・PTA研修として、防災士（専門家）を招き、災害時の避難場所や避難方 法等について学ぶ。 ・各学部で消火器の利用や避難方法等年間指導計画に位置付けた防災教育を 実践した。 ・校内の防災訓練に防災士も参加いただき、具体的な改善点等について細か く相談し、実際の状況に準じた形式に改善し実施した。
評価の視点	
①本校の職員が、防災教育について理解を深め、緊急時の対応や指導支援について 深めることができたか	A (B) C D
②災害時の対応方法などの知識や情報について保護者が求める情報の提供ができ	A (B) C D

たか。 ③防災教育の一環として、教育活動を通して、児童生徒が防災について学ぶことができたか。		A (B) C D
成果・課題		総合評価
○PTA研修委員会が中心となって保護者向けに防災研修会を行った。避難場所や避難方法等について学ぶことができ、保護者の防災に関する知識の習得と意識の向上につながった。 ○小中高等部の年間指導計画に即した防災に関する授業では、それぞれの発達段階に即した内容の防災教育の実践を行うことができた。 ○防災計画に沿った防災訓練に関して、専門家の意見を取り入れることで実際の災害時の対応方法が具体的に考えることができ、訓練方法の改善につながった。 ▲専門家の指導による職員の研修を実施し、より一層の資質の向上を図る必要がある。 ▲保護者が求めている防災に関する情報の収集や児童生徒の発達段階に応じた防災教育の内容を整理し、提供できるように努める。		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	・地域と共同での防災訓練を実施し、地域との協力体制を構築する。 ・児童生徒の発達段階に即した防災教育を年間計画に位置付け系統的な指導に繋げる。 ・災害時を想定した対応マニュアルの作成を行う。	

学校関係者評価 （令和5年2月17日実施）

意見・要望・評価等
・専門家である防災士の講演会はよくわかりやすく今後の防災に活かすことができる内容であったために、今後も継続するとよい。 ・年々、実際の防災時の対応に即してきているように感じる。 ・防災訓練はイベントにならずに、日常の延長として折に触れ意識・行動できるよう実践を続けてほしい。また、地域の人にも参加していただき、敷地外への避難時の支援方法等についても考えていくことも必要ではないか。